



平成29年度新潟大学COC+社会人学び直しWG 高度実践看護師等育成事業

## 第2回ホームカミングデーを開催しました

### 第2回新潟大学同窓生保健師交流会に18名が参加しました！

平成29年6月10日(土)、本学看護学専攻を卒業し、保健師として新潟県内を中心に活躍している1期生から14期生までの卒業生18名が集まり、同窓生保健師交流会(ホームカミングデー)を開催しました。なお、本事業は新潟大学「地(知)の拠点 大学による地方創生推進事業(COC+)」社会人の学び直し推進事業の一環として実施しました。

1. 目的 新潟大学卒業生同士や教員との情報交換をととしてネットワークの形成を図り、大学院CNSコース進学に関する情報提供を行うことにより、地域看護専門看護師への志向拡大と保健師就業者定着のサポート体制をつくる。
2. 日時 平成29年6月10日(土) 10:00~12:30
3. 場所 新潟大学医学部保健学科

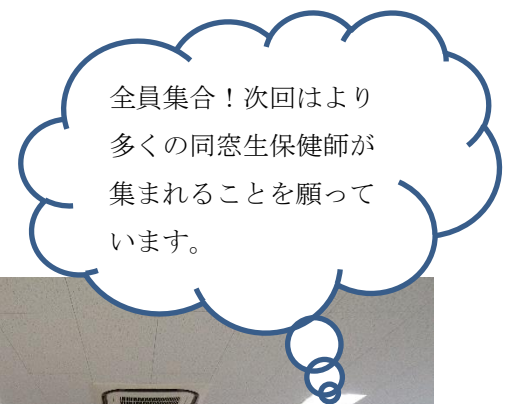
#### 4. プログラム

	プログラム
1	開会
2	自己紹介、企画メンバー紹介
3	グループトークによる情報交換・交流
4	大学院修了生の研究紹介 「発達障害のある子どもをもつ母親の子育てにおける体験」 新潟市中央区役所健康福祉課 伊藤由香 課長補佐
5	大学院保健学研究科地域看護 CNS 課程の紹介 新潟大学大学院保健学研究科 小林恵子 教授
6	集合写真撮影、閉会、解散、個別相談(希望者)

#### 5. 参加者

新潟県内 17名(県2名, 市町村15名)  
新潟県外 1名

日々の活動を紹介し、お互いにアドバイスし合い、トークは盛り上がりました。



全員集合！次回はより多くの同窓生保健師が集まれることを願っています。



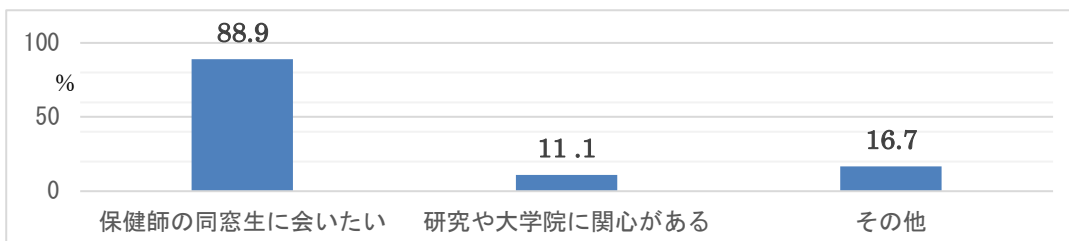
## 6. 実施概要

グループトークでは、企画メンバー進行のもと、グループ毎に最も心に残っている経験や現在の悩み・困り事と対応方法などについて情報交換を行いました。また、大学院修了生より保健師活動の中で生じた疑問をテーマとした研究発表があり、日頃の母子保健活動の実践に活かせる知見を共有することができました。

大学院地域看護 CNS 課程の紹介では、CNS の役割や授業の内容について、情報提供を行いました。

## 7. アンケート結果（一部抜粋）

### 1) 参加動機（複数回答）



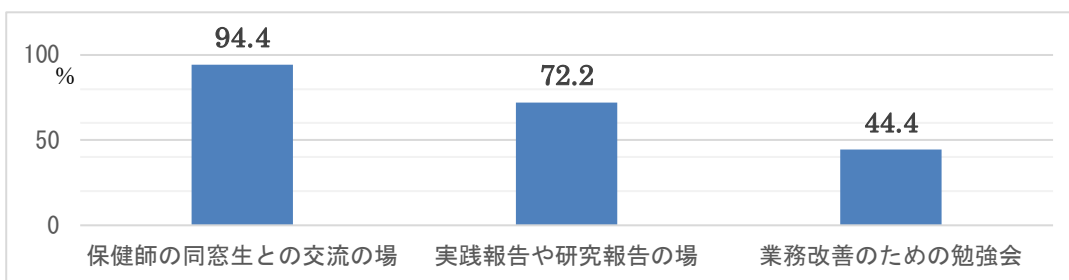
### 2) 参加しての感想

項目	%
とてもよかった	67.7
よかった	33.3
あまりよくなかった	0
よくなかった	0

### 3) 大学院進学について

項目	%
すぐにでも進学したい	0
条件が整ったら進学したい	44.4
あまり考えていない	38.9
全く考えていない	5.6
無回答	11.1

### 4) 今後の企画への希望（複数回答）



### 5) 大学に期待するサポート（自由記載，一部抜粋）

- ・ 事業の評価等の相談
- ・ 研究、研究発表会への協力

### 6) 感想（自由記載，一部抜粋）

- ・ 大学院修了生の研究発表はとても勉強になり、参加して良かったと思いました。
- ・ 他県や他市町村で働いている方とお話できて楽しい時間を過ごせました。
- ・ いろいろなお話が聞けて日々の仕事をがんばろうと思えました。
- ・ 先輩方のお話を聞けて非常にいい機会でした。
- ・ 様々な方からお話を聞ける良い機会となりました。今後も開催されるようでしたら、参加したいです。

## 8. 企画メンバーの声

新潟県福祉保健部医師・看護職員確保対策課 山田 知佳 保健師

今回、企画メンバーとして、内容の検討や運営などに携わらせていただきました。所属・年代を超えて、保健師として働く同窓生のみなさんが交流できるようにと思い、グループトークを企画しました。私自身が皆さんの活躍の様子を伺い、元気をいただくとともに、同窓生のつながりを基盤に更に発展的な取り組みができるのではないかと夢が膨らむ機会になりました。

新潟市中央区役所健康福祉課 佐藤 萌 保健師

大学院で勉強をされた先輩の発表をきくことができ、大学院で学べることをイメージできる良い機会となりました。

同窓生の先輩、後輩の方とお話をする事ができ、悩んでいることは自分だけではないと思え、仕事へのさらなる意欲や視野を広げることができました。ありがとうございました。

新潟大学医学部保健学科 堀田 かおり

今回の交流会は、様々な所属、年代の同窓生のみなさんが交流できることを目標に企画・運営いたしました。当日は、久しぶりの再会・交流であったという間の時間でした。また、温かい感想や次回に向けた素敵なアイデアをありがとうございました。今後も同窓生と一緒に交流会を盛り上げつつ、このつながりを活かしてお互いに支え合い、高め合っていけたらと思います。

## 9. 教員からのメッセージ

新潟大学大学院保健学研究科 小林恵子 教授

今回も新潟県内を中心に遠くは千葉からもご参加いただきました。また、ご欠席の方からもたくさんの前向きで温かいメッセージをいただきました。

特に卒後1～2年目は、職場でベテラン保健師さんに囲まれ、心強い反面、なかなか戦力になれない歯がゆさや孤独感も感じている方もおられることでしょう。一方、中堅という立場で成果を期待され、責任と仕事の量に押しつぶされそうな思いを抱いている方もいらっしゃるかもしれません。そのようなときは一人で悩まず、心を許せる仲間と語り合い、時には教員に頼り、サポートを求めてください。

この会が交流を基軸に、大学院進学へのキャリアアップや、研究をとおして実践と理論の循環が図れるきっかけになることを願っています。私たち教員も皆さんから頼られる存在であるよう日々感性を磨き、研鑽を続けていきたいと思えます。

皆さんのご活躍を心からお祈りしております。

### ～事務局からのお知らせ～

#### ・ご所属、連絡先情報の変更について

異動等によりご所属や連絡先に変更がございましたら、変更後のご所属や連絡先情報を事務局までメールにてご連絡いただきますようお願いいたします。

#### ・同窓生保健師の皆様への周知について

保健師として勤務されている同窓生へのご連絡は、卒業時の勤務先情報や同窓生からの周知により情報を把握しご連絡を差し上げています。お近くに同窓生がいらっしゃいましたら、本会の周知と事務局へのご連絡をお声がけいただけますようお願いいたします。

新潟大学大学院保健学研究科 同窓生保健師交流会 事務局  
小林 恵子・齋藤 智子・小笠原映子・成田 太一・堀田かおり  
〒951-8518 新潟市中央区旭町通 2-746  
Mail : chiiki@clg.niigata-u.ac.jp